

愛知県西尾市桜町の総合建設業「ミツイワ建設株式会社」（岩瀬一社長）はこのほど光触媒の技術を活用して、においや汚れ、雑菌、有害物質などを分解する画期的な住宅用コーティング剤「LALACOAT（ララコート）」を開発。販売開始から二年ほどが経過し、その効果が実証され始めており、同社のララコート販売部門「ララブラデ」担当の岩瀬匡和さんは「住宅の外観や室内環境が気になる方には、ぜひお勧めしたい」と話している。

ララコートは吹き付けるだけで雑菌やにおい、有害物質などを分解するコーティング剤。住宅の外壁に使うと汚れが付かないために清掃の手間が掛からず、**室内では消臭や抗菌・抗ウイルスなどのほか、シックハウス症候群に対する効果も絶大という**。活用している技術は、目で見える光なら反応する可視光応答型光触媒。従来の光触媒は、太陽光に反応するものが主流だったが、ララコートに使われているタイプは、室内の光で十分に効果を発揮する優れものとなっている。施工状況で異なるが長期にわたり効果が持続するという。「OHラジカル」という活性酸素を、ウイルスや菌を構成する元素と接触させることで分解。酸化チタンをアパタイト（歯や骨の成分）で被覆することで、大気中に漂っている有害物質などを吸着し、分解酵素を持続させる新たな技術が特徴となっている。

施工場所は住宅などの外壁や内装が多く、外壁に使用することで汚れがほとんど付かないことはもちろん、雨によって洗い流される。実際に新築物件などで施工すると、非施工の場所とは汚れ具合が一目瞭然だった。内装ではたばこの煙などが付着することなく、においもすぐになくなるほか、インフルエンザウイルスなども分解されるといい、病室での施工例も増えている。また、ララコートに含まれる酸化チタンは、白色顔料の原料として使用されるもので、食品添加物としても認められているほど、人にも環境にも優しい安全・安心な物質となっている。

ララコートの開発を手掛けたのは、担当の岩瀬さん。三年半ほど前に、可視光応答型の光触媒の存在を知り、建設現場で生かすことはできないかと考え、耐久性のテストや吹き付け技術の確立など、試行錯誤を繰り返し、商品化することに成功した。従来の光触媒技術では、下塗りが何重にも必要だったが、ララコートでは下塗りせずに塗装面に直接吹き付ける事が出来るようにし、コストパフォーマンスにつなげた。

さらには、ララコートの販売はもとより、施工まで一貫して手掛ける日本初のオリジナル工法「LASS（ラス）工法」も確立した。ラス工法では、建物の完成時には住宅性能表示制度に基づく、5品目の揮発性有機化合物（VOC）濃度を測定。国土交通大臣認可の全国室内環境改善事業協同組合による検査済証を発行する。施工から五年間でシックハウス症候群になった場合は、室内の空気環境を測定して基準値以上だった際には、ミツイワ建設株式会社が通院費の保証金を支払うほか、再施工をすることにしている。

ララコートは、通常の外壁塗装料金に加え、一平方メートル当たり三千五百円プラスすることで施工が可能。開発を担当した岩瀬さんは「汚れが気になる人にはぜひお勧めします。外壁に施工することで、常にきれいな住宅環境が持続します。においや汚れなど、室内の空気環境を良くしたい方は、ぜひお気軽にご相談下さい」と話していた。

(問合せ先)

ミツイワ建設株式会社

愛知県西尾市桜町4丁目35番地

電話 0563-54-5331

岩瀬匡和